

名古屋西南ロータリークラブ Weekly Report

安江英雄会長年度テーマ

絆継続は力、協力は3倍力

例会場 名古屋クレストンホテル TEL 052-264-8000

例会日時 木曜日 12:30

クラブ会報広報委員長 二俣景一



2006-07 年度 R.I 会長
ウィリアム B. ボイド

承認 1995.3.28
会長 安江英雄
幹事 後藤 敬

事務局 名古屋市中区栄 3-29-1
名古屋クレストンホテル 1007 号

TEL 052-263-1324

FAX 052-263-0730

Email seinan1@fancy.ocn.ne.jp

HP <http://rc.nagoya-seinan.org/>

新年例会 = 新春の調べ =

第563回例会 No. 23 平成19年1月11日(木) 晴

ロータリーソング	「君が代」「それでこそロータリー」
出席報告	会員47名中36名出席
出席率	81.82% 出席計算人数44名
修正出席率	12月14日 93.33% 12月21日 95.45%
ゲスト	米山奨学生 呉燕さん 中川さんゲスト 後藤晋児氏 演奏者 浅井大美子さん 辻 和余さん

新春の調べ ~お琴・バイオリン~



琴：浅井大美子さん バイオリン：辻 和余さん

会長挨拶 安江英雄

あけましておめでとうございます。
皆様におかれましては、今年はすばらしい年になれる様に種々神仏にお願いされたことと存じます。
年の始めには多くの人々は「ダルマ」様に種々の願いを込めて左目に目の玉を入れられることと思います。そこで、年の始めということでダルマ様とはどの様な方であったかを検証してみたいと思います。
達磨老祖は南天竺の香勢国王第3太子でありました。栄華を求めず、王位を欲せず修道して、お釈迦様から数えて西天28祖とされました。しかも祖位に安ぜず末劫を普渡するために東土(中国)に法を伝え、真空の妙意を説かれました。
渡人の方法は文字を用いず、ただ口伝心援によりまし

た。

しかしながらこの方法ではおそらく、東土の人々には醒性させ、理解させることは困難であると考えて、方便をもって一群の瑞雲にのってやって来ました。まず始めに梁の武帝にその法を伝えようとした。梁の武帝は五色の祥雲が西方から飛来するのを見て何の変兆かと怪しみましたが、志公は「決して怪しい事ではありません、西天の聖人の来臨です。祥光の中に一人の老僧がいて雲端に立っています。」と言いました。やがて宝殿に降りて来ました。武帝に合う為に。
当時の梁の武帝は国中に10里に一庵、5里に一寺を建て、無量の功德を積んでいました。けれども武帝はそれを自慢した為に真法は伝えられませんでした。次に神光祖師に伝えられますが、これは後程、機会がありましたらお話をしたいと思います。

1月の祝福

誕生日		結婚記念日	
2日	森さん	5日	浮貝さん
18日	橋部さん 安江さんご夫人	20日	近藤さん
20日	藤野さん	26日	岡田さん 渡邊さん
23日	坂野さんご夫君		

ニコBOX

本日は美しい調べを奏でいただきます。お琴の浅井大美子さん、バイオリンの辻 和余さん、よろしくお願い致します。安江会長、森田、二俣、藤野、水野、近藤、鈴原、岩田、池井戸、矢野、和田(敬称略)

新年おめでとうございます。本年も宜しくお願い申し上げます。チャリティーオークションで楽しく過ごしましょう！
後藤幹事、日下、藤田、松尾、丘、中村、長谷川千廣、渡邊、植木、浮貝、服部、磯部、吉田、長谷川龍伸、丸山、川原、河原、加藤、中川(敬称略)

大塚さん 今年こそは、今年こそはと毎年新年の神だのみ。今年こそは！

大平さん 新年明けましておめでとうございます。温暖で平和な正月で何より。皆様の御多幸を祈ります。

森さん 今年もお世話になります。よろしくお願い致します。

本日合計 74,000円

議事録

第7回理事役員会

2007年1月11日(木)12:00~例会場

出席者 安江、渡邊、大平、中村、水野、藤野、近藤、後藤、二俣

議題

1. 退会承認の件 北折守男さん
2. 入会承認の件 後藤晋児さん(介護福祉事業)
柴田達志さん(建築デザイナー)
3. 次年度理事役員承認の件
4. その他
みなとRC 合同例会(2/15)会費の件
次年度地区委員出向承認の件

チャリティーオークション

親睦活動 委員長 藤野 正敏

本日の例会にて皆様からご提供いただいた品物のチャリティーオークションを開催いたしました。

収益金 : 44,200円

皆様のご協力に心より御礼申し上げます。



ロータリーの友 WEB Site より抜粋 RI 会長メッセージ 1月

「ロータリーの根幹」

WILLIAM B. BOYD

2006-07 年度国際ロータリー会長

親愛なる同僚ロータリアンの皆さん

「ロータリーって何？」と聞かれたとき、手短かにわかりやすく答えるのはちょっと難しいかもしれませんが、ロータリーは、友情と親睦、国際理解と協力、職業の倫理と地域社会における指導力など、多くのものから成り立っているからです。こうした価値があるからこそ、私たちはロータリーへと導かれ、ロータリーにとどまっているのです。

クラブを通して手を差し伸べる

しかしながら、何にもまして第一に、ロータリーとは奉仕に従事し、「超我の奉仕」を実践する場です。ロータリーは親睦のために創立されましたが、困った人を助けたいという思いをもった人々が集まってきて、一人で行うよりもより役立ち、より効率的に、より楽しく活動する組織へと発展していきました。私たちが各クラブの会員であるからこそ、クラブを通して人々に手を差し伸べることができるのです。だからこそ、私たちはロータリアンなのです。だからこそ、ここにいます。

奉仕のバランスを見いだす

奉仕の四大部門は今もロータリー活動の中心に位置し、今後も中心であり続けるでしょう。奉仕の四大部門はプロジェクトを選ぶ際、そのバランスを見いだすのを助け、ロータリーの目的を達成する上で役立ちます。私たちは、クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、そして国際奉仕を通して、私たちはこの理想を維持しようと努めます。グラウンドの再整備、井戸の掘削、成人に対する読み書きの指導、子どもへのポリオワクチンの投与など、私たちが実施するプロジェクトの一つ一つが、私たち皆が住んでいる世の中を、少しずつより良いものに、より健康的で、そしてより幸せなものにしているのです。

私たちがほかの人々へのさまざまな奉仕活動に献身しているにもかかわらず職業的に成功しているのではなく、ほかの人々への献身があるからこそ職業的にも成功していることを示しています。

真の仕事、奉仕のために専念する

ロータリーで私たちが行うすべての活動は、ロータリーの綱領を裏付けるものです。私たちがロータリー財団を強化するという事は、私たちの奉仕を支える原資の増強を図っていることになるのです。会員増強に努めるということは、私たちのプロジェクトを実施する仲間をより多く得るということにつながります。

ロータリーの綱領や 奉仕の四大部門のように変わらないものもありますが、私たちの組織は、掲げる目標に合わせ、より良く、より効果的な方法を見いだすよう、何十年もかけて変化し続けてきました。CLP(クラブ・リーダーシップ・プラン)もその方策の一つです。そこには、私たちがクラブを組織化し、それぞれの会員が奉仕の四大部門の各分野でその能力を存分に発揮できるための道しるべがあります。

クラブのリーダーシップの骨組みを簡素化することによって、私たちはロータリーの真の仕事であり、また、常にそうあるべき奉仕のために、私たちの時間やエネルギー、資源などを今以上に費やすことができます。奉仕の四大部門に熱心に取り組む続けることで、私たちは過去にそれに従事してきたロータリアンたちの世代に敬意を払い、これからの新しい世代へ道を示すのです。

次回例会のご案内

1月25日(木) 第565例会

卓話「ダイビング同好会 活動報告」 鈴原 孝さん